

若手句会実況中継 4月12日(金) 平成三十一年

指導者…小澤實氏・榎未知子氏 出席者数 33名

高点句

1位 フルト吹く息は三角花曇 千葉まどか 7点

(受講者5点、小澤・榎選)

講評…息の勢いを「三角」と表現したことが良い。「花曇」と合っている。(小澤) 不思議な実感がある句。花曇りが響いている。(榎)

1位 花冷の式場となる体育館 折原真理恵 7点

(受講者5点、小澤・榎選)

講評…「花冷」の季語が効いている。しかし何の式場なのか分からないのが曖昧。(小澤) 結婚式かもしれないですね。それならば公民館にした方が昭和の感じで想像しやすいかも。面白い句。(榎)

3位 春ともし白磁の猪口の軽きこと 曲 風彦 6点

(受講者4点、小澤・榎選)

講評…「軽きこと」が明るくてよい。(小澤) 中七が名詞で出来ているので、上五を「春灯や」と切った方がすっきりしてよい。(榎)

3位 永き日やマネキンの足やや浮きて 吉田哲一 6点

(受講者4点、小澤・榎選)

講評…足が浮いて落ち着かない感じと「永き日」の季語が合っている。安定感ある。(小澤) ふわふわした感じが「永き日」の季語と上手に付いていると思う。(榎)

5位 細き手に細き骨秘む花林檎 川原風人 5点

(受講者3点、小澤・権選)

講評…「細き骨秘む」と「花林檎」の付け合いはよく考えた。(小澤)

「細き手に太き骨秘む」では骨太で花林檎には合わない。やはりこれでいいと思う。藤村の詩のようです。(権)

5位 蜆汁母に詫びたきことばかり 寺澤 始 5点

(受講者3点、小澤・権選)

講評…悔恨の気持と蜆汁の取合せは合っていて動かない。お母さんに作ってもらった感じがある。(小澤)「父に詫びたき」ではないところがいい。男性の句らしい。(権)

5位 仔猫抱くふたり夫婦のふりをして 上野犀行 5点

(受講者4点、権選)

講評…面白い句だけれど二人とも別々に猫を抱いているのか、一匹を抱き合っているのか曖昧。出来たら二匹としたい。(小澤)面白い句。猫好きなので、こういう句はいただいています。(権)

5位 激流の白のまぶしき孕鹿 伊藤麻美 5点

(受講者3点、小澤・権選)

講評…派手で目を引く句です。最後を「孕鹿」と落としたところが上手いです。(権)派手でかっこいい句ですね。(小澤)

5位 花冷えを横切る豆腐屋のラツパ 大木雪香 5点

(受講者3点、小澤・權選)

講評…花冷えと豆腐のラツパの取合せがいい。「横切る」が説明調で良くない。(小澤) 上五を「花冷や」と切りたい。そうしないと花冷えが戻って来るように感じてしまう。でものんびりしていい句です。またラツパは「喇叭」としたい。「花の冷え」「桜冷え」という季語は間違えなので注意して欲しいです。(權)

5位 新社員一人挨拶すれば皆 吉田林檎 5点

(受講者3点、小澤・權選)

講評…状況が見えすぎてしまった感じがある。「新社員」という季語は生活の季語なので、この詠み方は人事に付き過ぎているので、少し外した方が面白くなるのではないか。例えば外など自然の中に置いてみると引き立ってくるかもしれない。(權)